別紙

令和８年度校区まちづくり交付金　交付決定助言書
【南山本小学校区まちづくり協議会】

〔交付決定にかかる条件〕

※下記に記載の〔交付決定にかかる条件〕については、年度内の活動の中で実践や実施に向けた検討を進めてください。その実績や検討状況については、実績報告書に記載いただき、ご報告ください。

○チャレンジメニュー①：1-①「自助」の取り組みの定着・促進
・展示に加えて、来場者が実際に体験・使用できる機会を設ける等の工夫についてご検討ください。

○チャレンジメニュー③：1-③地域ぐるみの登下校の見守り
・非常によい取り組みですので、取り組みによってどのような効果が得られたのか、検証の実施についてご検討ください。

○チャレンジメニュー④：2-④組織基盤の強化
・啓発活動について、加入者数の目標など目標値の設定についてご検討下さい。
・どのような人に声かけを行い、どのような点に魅力を感じて加入いただくかなど、啓発方法について検証を進めるとともに、新たに町会加入をした方に対し、加入のきっかけについてヒアリングするなどして、その結果を踏まえた効果的な啓発活動についてご検討ください。

○チャレンジメニュー⑤：3-①ホームページやインスタグラムやXなどSNSの導入
・SNSでの発信に加え、イベントや会への参加者とのコミュニケーションツール（LINEオープンチャットなど）の作成や運用についてご検討ください。また、高齢の方を対象としたスマートフォン講座の開催により、認知を広げる活動についてもご検討ください。
・SNSの運用とあわせて、情報リテラシーやSNSの使い方の講習等の実施についてもご検討ください。

○チャレンジメニュー⑥：3-③若い担い手確保・参画促進
・最初から運営に入るのはハードルが高いと感じられる方もいるため、気軽に参加できる体制となるよう、無理なく少しだけのお手伝いから徐々に深く関わっていける体制や工夫についてもご検討ください。

○チャレンジメニュー⑦：4-①社会とのつながりづくり
・子育て支援とあわせて、地域の困りごと相談にも対応できるような場づくりについてご検討ください。

○取り組み①：子育て支援事業（ヘッジホッグクラブ）
・ヘッジホッグクラブの活動のさらなる認知度向上や、地域への情報発信のために、様々な情報発信ツールや地域への呼びかけを行う手法についてご検討ください。また、月2回の開催を目指すとのことですが、運営体制の整備や参加者増加に伴う新規運営メンバー募集等の取り組みについてもご検討ください。
・参加者が増加しているということは、現在の周知方法に効果があるということです。どのよう

な周知方法がより効果的であったのかについて、効果検証の実施についてご検討ください。

○取り組み⑥：防災訓練活動
・AED の使用訓練や無事旗掲揚活動と連携を図ることで、より充実した取り組みになると考えられます。そのための連携方法についてご検討ください。

○取り組み⑧：ふれあいまつり事業
・地域で行われている様々な活動を紹介する機会とすることで、新たな担い手の勧誘につなげる手法についてご検討ください。

○取り組み⑨：敬老祝寿会
・地域の人たちと出会い、語りあえるプログラムや、ふれあいにつながるような取り組みをあわせて実施することについてご検討ください。

〔今後の活動にかかる助言〕
※下記に記載の〔今後の活動にかかる助言〕については、まち協活動でご活用ください。こちらの項目については、実績報告の際の実施状況等のご報告は不要です。

○チャレンジメニュー②：1-②子どもの参画
・子どもの参画は非常に効果的だと思います。今後についても、引き続き継続して実施してください。

○取り組み②：広報活動
・広報誌だけでなく、インスタグラムや HP の活用もされており、バランスの取れた広報が行えていると思います。今後についても、引き続き継続して実施してください。

○取り組み③：防犯パトロール事業
・青色防犯パトロールだけでなく、協力者に対して自転車にパトロール中の啓発板を取り付けて、誰でも無理なく見守り活動が行えるような仕組みは、地域の防犯意識を高める良い効果になると思います。今後についても、引き続き継続して実施してください。

○取り組み④：AED（自動体外式除細動器）
・設置するだけでなく、防災訓練時に使用訓練を行うのは、とても良い活動連携だと思います。今後についても、引き続き継続して実施してください。

○取り組み⑦：ワークショップ事業
・地域防災の学びをワークショップ形式にすることで、より身近な問題として学ぶことができるよい取り組みだと思います。今後についても、引き続き継続して実施してください。

○取り組み⑩：もちつき
・伝統行事の継承とともに地域行事に積極的に参加できるよい機会だと思います。今後について

も、引き続き継続して実施してください。

○取り組み⑪：マルシェ
・地域の連携が取れているよい取り組みだと思います。今後についても、引き続き継続して実施してください。

○全体を通して
・地域の安全・安心を基盤としながら、子育て支援、防災、防犯、世代間交流、地域イベントなど、多様な事業を体系的に実施しようとされていることが伝わってきました。特に、子育て支援事業「ヘッジホッグクラブ」を地域のサードプレイスとして位置付けている点や、防災を単なる訓練ではなくワークショップや無事旗掲揚訓練などへ発展させようとされている点は、大変興味深い取り組みであると感じました。
一方で、事業全体を見ると、それぞれの取り組みは充実しているものの、「参加した人がその後どのように地域へ関わっていくのか」という流れについては、もう少し具体的に考えていく余地があるように感じました。
例えば、子育て支援事業に参加した保護者が、ふれあいまつりやマルシェ、防災ワークショップへ参加し、その中から地域ボランティアや運営スタッフとして関わる人が生まれる、といったように、各事業をつなぐ「地域参加のロードマップ」を描くことができると、個々の事業効果だけでなく、地域全体の担い手育成という視点もより明確になると思います。
・チャレンジメニューでは Instagram を活用した情報発信や若い担い手の参画促進を位置付けられていますが、「認知度向上」だけで終わるのではなく、実際に参加した方への継続的な情報提供や、イベント後も地域との接点を持ち続けられる仕組みの整備も検討されると、より継続的な関係づくりにつながるのではないでしょうか。
さらに、防災、防犯、子育て、マルシェなど、多くの事業が「地域のつながりづくり」という共通した目的を持っています。それぞれを独立した事業として実施するだけでなく、「安全・安心を通じて人がつながるまち」「子育てしやすい地域づくり」といった年間を通じたテーマを設定することで、校区全体としての方向性がより伝わりやすくなるように感じました。
・防災・防犯を核とした地域活動を行われており、地域の方も参加しやすい取り組みが多く、地域防災に効果があると思います。
特に、「ヘッジホッグクラブ」は、地域の子育て層の居場所として育ってきており、参加者の増加から運営日を増やすまでに至っているのは、非常に効果的な地域活動であると思います。この場が、子育て層だけのサードプレイスではなく、広い世代のサードプレイスに育っていくと地域活動への参加者も増加するのではないかと思います。各イベントへの参加者が何をみて参加し、別なイベントへの参加へとつながっているのか、以前の参加者がどれくらいリピートしているのかなどの検証も行なっていけると効果的な啓発活動につながるのではないでしょうか。